

## 平成21年度男女平等参画チャレンジ賞贈呈式 懇談概要

日時 平成22年2月3日(水) 16:00~

場所 北海道庁本庁舎3階 知事会議室

### ●梅木さん



この度は輝く女性のチャレンジ賞という素敵な名前の賞をいただきありがとうございます。私は「もの」を創ることを仕事としておりますので、花を使ったものとかつくった庭ですとか、そういう「もの」に賞を、というのはピンと来るのですが、今回の賞は「やってきたことそのもの」にいただいた賞ということで、大変名誉に思っています。

私は月形町で生まれ育って、100年以上前に入植した4代目ですが、その田舎の町でもできるということと、40歳を前にして始めたことですので、

30代後半からでも十分何かができるということと、それから子どもが4人おり、下の子は本当に小さかったですけれども、それでもできるということ。子どもがいる、田舎の町である、そういったハンデをバネにしたということもありますので、そういう「それでもできる」ということを地域みなさんに感じてもらえて、それでみなさんに元気をもらえるとってもらえれば嬉しいかなと思っています。

今回の賞は私一人にいただいた賞だとは思っていないんです。「地域で」だからいただけた賞ということであって、私に関わった人や私が巻き込んできたたくさんの人、そうした人たち全員がいただいた賞だと思っています。ありがとうございました。

### ●本町かみさん会 村田さん



今日は本当にとっても素敵な賞をいただくことができまして、感激しております。

かみさん会を設立して7年目になるのですが、最初は、市役所が移転するとかそういう「まち」がだんだん衰退していく状況にありました中で、どんどん人口が減っていく。そういう中で、「自分たちの手でこのまちを少しはよくできないのかね」という話が、現在の会のお母さんたちといった周りの人たちとの雑談の中でできました。そういうことを考えていく中で、「石狩って、とてもおいしい物もた

くさんあるよね。石狩で獲れた物には地元の人たちでもまだ食べていないものもあるのだから、そういう物をみんなで手がけてやっていけたらどうなのかな」と考えました。

地域活性化といった大げさな名目を掲げて始めたことではなく、やっぱり会のみんで、「おいしい物を食べてみようよ、こんなおいしいものができるよ」とまちの人たちにわかっていただくということから考え始めました。そのために自分たちのできることは何なのかな、ということから始めたことです。土日・祭日しか営業しない、あまり地域活性化につながらないような活動だったのです。

活動をしていく中で一番嬉しかったのは地元の人たちの応援がすごくあったことです。私たちも十分年寄りなんですけれども、今まで外に全然出てこれなかったようなお年寄りが、天気の良い日に三々五々広場に集まってきて、井戸端会議をやっています。会のお母さんたちの売り場の声を相手にしながら、冗談を言いながら、それが「楽しい」という一日を過ごしていられるという風景が、今まで石狩のあの地区にはなかったことでしたので、本当にこれはおおげさなことではなく、「やってよかった、やり始めてよかった」と思っています。

地元の人たちが後押ししてくれましたし、若くはないものですから、なかなか大変なんですけれども、みんなで朝早くからがんばって、何とかやってくることができました。それがこのように評価してもらえることは、本当に恐縮なんですけれども、全員感激して、よろこんであります。ありがとうございました。

## ◎知事

梅木さんのコテージガーデンでは月形の方々が関係者ということですか？

### ●梅木さん

スタッフの半分は月形の地元の人たちで、他はうちで仕事をしたいという人が意外と遠くからやってきて、遠くは神奈川出身の人もいますし、長野出身の人もいたり、そして近隣の町から通勤している人もいます。

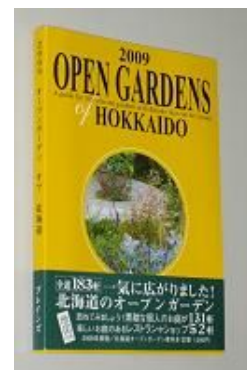
## ◎知事

最近、北海道ガーデンというか、北海道でしかできないガーデンをもっと広めていくという動きも出てきていますよね。

### ●梅木さん

そうですね。知事が進めてらっしゃる花観光。観光の面で花は絶対に欠かせない物ということで、道の「花大陸北海道」にも私は関わっております。ガーデンアイランド北海道の理事も務めさせていただいております。私の町からというのではなくて、北海道全体のことで、オープンガーデンの活動も行っており、今、私たちは10冊目のオープンガーデン紹介の本を作っています。完全自費出版で、みなさんの力を借りて続けてくることができました。

庭をつくるといった仕事もやっておりますけれども、また別の面で、これを持って北海道に庭を見に来ようとか、花を見に来ようといった活動も、もっと深くと続けて参りました。去年来た人たちが今度



オープンガーデン紹介の本

(2009年版)

自分たちのグループを連れてくるということで、いろんなところでそれが広がっています。私は旅行会社をやっているわけではありませんけれども、今年は4つくらいツアーをプランして欲しいと頼まれています。去年も一昨年もやっておりまして、それなりの経済効果にも貢献しているんじゃないかと。

花は地元の人たちが楽しまなければ意味がなくて、それを見に来る、最終的にはここに住んでみたいと思ってくれるような「北海道づくり」ということを目標としております。それには地元の人たちの花のある生活というのは欠かせないことだなと思って活動しています。

### ◎知事

恵庭市がまちぐるみで一生懸命取り組んでいらっしゃるのを拝見したこともございます。北海道には塀がないのでオープン度が高いですね。

### ●梅木さん

オープン外構で、みなさん感動して帰られます。

### ◎知事

わたしもお花大好きですし、お花が嫌いという人は、多分いないので、自然の中のお花も重要だけれどもこういうそれぞれの家庭なり地域が工夫を凝らしてガーデンを作っていくという中におけるお花というものは是非北海道から発信していきたいなと思っております。これからもよろしく願いいたします

それから、石狩の皆様。まず石狩は厚田と浜益と合併がありましたよね。合併を経て、これから石狩市、人口も減る方向の中で、高齢化も進んでおります。その中で皆様方がこうやって朝からがんばっていらっしゃる。皆様方の活動は石狩の物産を売っておられると言うことが活動の中心なのですか？

### ●本町かみさん会 村田さん

そうですね。こだわって石狩で獲れた地元の野菜だとかお魚だとかそれを元にした加工品ということで、石狩にあるものだけでやっていきたいと考えて、何とか細々とつないできました。

石狩は食材豊富なんですよ。結構知らない方が多いのですけれど、「こんなものが石狩で獲れますよ」ということを紹介しますと、感心されて。対面で販売しておりますので、うちのお母さんたちが、上手に会話してくれるものですから、お客様には言葉を交わせるだけで楽しいよと仰っていただいています。リピーターの方々も札幌の方からもどんどんいらしていただいているという状況です。会として、みなさんにとてもがんばっていただいているので、本当に心強いです。

### ◎知事

みなさんボランティアですよ。

●本町かみさん会 村田さん

そうです。

◎知事

例えば、おそろいのユニフォームとかのぼりとか、そういった活動費は販売利益の中から出すようにしているのですか。

●本町かみさん会 村田さん

はい。その販売利益の中からですね。

◎知事

そうですか。長く続けていただければ、また、地域の賑わいも広まってくるでしょうし、是非これからもがんばっていただきたいと思います。

ありがとうございました。



おそろいのユニフォーム姿の本町かみさん会のみなさん